

井上 リサーチアワード 受賞者 一 覧

〔受賞者の所属は受賞当時〕

(受賞者) (所属) (研究 題 目)

第 1 回 (2009 年度)

親泊 政一	徳島大学・疾患ゲノム研究センター・教授	小胞体ストレス応答シグナルによる代謝制御機構の解明
河原林 健一	国立情報学研究所・プリンシプル研究系・准教授	先端離散数学を用いたネットワーク解析とデータ更新
唯 美津木	分子科学研究所・物質分子科学研究領域・准教授	分子認識能を組み込んだ表面モレキュラーインプリンティング固定化金属錯体触媒の設計による触媒反応の精密制御法の構築

第 2 回 (2010 年度)

緒方 芳子	東京大学大学院数理科学研究科・准教授	量子系の非平衡、熱平衡状態における大偏差原理の研究
五島 剛太	名古屋大学高等研究院・特任准教授	細胞分裂期スピンドルの形成機構の解明
松永 茂樹	東京大学大学院薬学系研科・講師	2核性シッフ塩基を基盤とする2金属協奏機能触媒系の構築と医薬・天然物の短工程合成への展開

第 3 回 (2011 年度)

土居 雅夫	京都大学大学院薬学研究科・准教授	生体リズムに基づく時間医薬研究
花岡 健二郎	東京大学大学院薬学系研究科・講師	生体内可視化を目指したMRIプローブの開発と応用

第 4 回 (2012 年度)

川口 由紀	東京大学大学院理学系研究科・助教	スピノール BEC における量子多体効果の研究
佐藤 俊朗	慶應義塾大学医学部・特任講師	大腸の癌化における必須遺伝子変異の同定
中尾 佳亮	京都大学大学院工学研究科・講師	不活性結合の触媒的切断手法の開発と有機合成および高分子分解への応用

第 5 回 (2013 年度)

生沼 泉	京都大学大学院生命科学研究科・助教	神経ガイダンスの分子基盤の解明-神経再生応用に向けて
高橋 史宜	東北大学大学院理学研究科・准教授	宇宙の始まりと終わり：宇宙背景輻射から探るインフレーションと暗黒宇宙
藪内 直明	東京理科大学総合研究機構・講師	高エネルギー密度蓄電デバイス用新規鉄フッ化物電極材料の研究
山本 雅裕	大阪大学微生物病研究所・独立准教授	宿主自然免疫系による病原性原虫の制御とその破綻機構の解析

(受賞者) (所属) (研究題目)

第 6 回 (2014 年度)

大澤 志津江	京都大学大学院生命科学研究所・講師	細胞老化が駆動する細胞非自律的腫瘍悪性化の遺伝的基盤
成田 憲保	国立天文台・太陽系外惑星探査プロジェクト室・特任助教	スーパーアースとは何か? : その組成と形成過程の解明
任 書晃	新潟大学大学院医歯学総合研究科・助教	物理的刺激に対する聴覚の非線形受容機構の理解
松原 亮介	神戸大学大学院理学研究科・准教授	外部刺激に応答して一酸化窒素を放出するフロキサソニ化合物の創製

第 7 回 (2015 年度)

池ノ内 順一	九州大学大学院理学研究科・准教授	上皮細胞の細胞接着による細胞極性形成機構の解明
UYANIK Muhammet	名古屋大学大学院工学研究科・助教	エナンチオ選択的酸化的ポリエン環化反応の開発
高山 あかり	東京大学大学院理学系研究科・助教	多探針 STM を用いた 1 次元 Rashba 効果およびトポロジカルエッジ状態の研究
羽鳥 恵	慶應義塾大学医学部・特任准教授	網膜光受容タンパク質メラノプシンを介した視覚以外の光応答の分子基盤

第 8 回 (2016 年度)

大島 孝仁	東京工業大学大学院理工学研究科・助教	酸化ガリウム系半導体の開拓研究とヘテロ接合デバイスへの展開
佐々木 拓哉	東京大学大学院薬学系研究科・助教	心因性ストレス応答による全身神経系の機能変調とその回復機序の解明
島田 裕子	筑波大学生命領域学際研究センター・研究員	栄養に応じた発生プログラムの柔軟性を支える神経とステロイドホルモン生合成調節機構の解明
森 啓二	東京農工大学大学院工学研究院・准教授	ヒドリド転位を基軸とする炭素-水素結合変換型分子変換法の開発

第 9 回 (2017 年度)

片岡 圭亮	京都大学大学院医学研究科・特任助教	PD-L1 発現制御の分子機構の解明
齊藤 尚平	京都大学大学院理学研究科・准教授	革新的な応力応答分子プローブの開発と「光分子力学」の構築
田中 雅臣	国立天文台・助教	重力波源の電磁波対応天体の同定と元素の起源の解明
王 静	徳島大学先端酵素学研究所・特任助教	インフラマソームを介した炎症反応を制御する生理活性脂質の探索

(受賞者) (所属) (研究題目)

第10回 (2018年度)

岡田 随象	大阪大学大学院医学系 研究科・教授	横断的オミクス解析を活用したマイクロRNA 創薬の推進
酒田 陽子	金沢大学理工研究域・助教	メタロナノベルトを基軸とした新規多孔性材料 創製
野村 龍一	愛媛大学地球深部ダイナ ミクス研究センター・助教	新しい超高压変形実験装置による地球中心核 ダイナミクス解明への挑戦
平野 有沙	筑波大学国際統合睡眠 医科学研究機構・助教	時計中枢から時刻情報を伝達する神経ネット ワークの同定と機能解析

第11回 (2019年度)

今井 直毅	東京大学大学院数理科学研 究科・准教授	局所ラングランズ対応の幾何学的実現
早河 翼	東京大学医学部附属病院・ 助教	神経シグナルによる胃上皮幹細胞及び胃癌制御機構 の解明
望月 建爾	信州大学国際ファイバー 工学研究所・助教	不凍タンパク質による水の相転移 ダイナミクスの制御

第12回 (2020年度)

浅野 圭佑	京都大学大学院工学研究 科・材料化学専攻・助教	高速反応の触媒的不斉誘導技術に基づくハロゲン 基置換炭素環骨格構築法の開発
伊藤 美菜子	慶應義塾大学医学部・ 専任講師	中枢神経系疾患における免疫細胞による組織修復 機構の解明
加藤 英明	東京大学大学院・総合・ 文化研究科先進科学研究 機構・准教授	動植物Gタンパク質シグナルの統合的理解に向けた 植物GTPase活性化タンパク質の構造機能解析
山崎 大	東京大学生産技術研究 所・准教授	衛星観測と数値モデルの統合による地球規模での 地表水動態の解明

第13回 (2021年度)

倉持 光	自然科学研究機構分子科 学研究所・協奏分子システム 研究センター・准教授	反応座標の可視化を目指した新規超高速多次元分光 法の開発と応用
杉原 加織	東京大学・生産技術研究 所・物質・環境系部門・ 講師	メカノクロミック素材を用いた分子レベルの力を測 定するセンサの開発
張 奕勁	東京大学・生産技術研究 所・基礎系部門・助教	二次元極性物質におけるバルク光起電力効果に関す る研究
丸山 健太	自然科学研究機構生理学 研究所・特別協力研究員	リボ核酸による腸骨恒常性維持機構の解明と制御

(受賞者) (所属) (研究題目)

第14回 (2022年度)

工藤 哲弘	豊田工業大学・工学研究科・先端工学専攻・講師	中赤外レーザーを用いた分子振動によるナノ物質の選択的光トラップ
楠本 周平	東京大学・大学院工学系研究科・化学生命工学専攻・助教	炭素資源の多様化を指向したバイオマス・天然ガスからの精密分子変換
藍川 志津	東京大学大学院・医学系研究科・産婦人科学講座・特別研究員	胚・子宮内膜間相互作用を介した妊娠成立機構の解明
井上 大地	京都大学・大学院医学研究科・客員准教授	進化と発癌の神秘、希少なマイナーイントロンが制御する発現調節機構

第15回 (2023年度)

垣内 伸之	京都大学白眉センター・特定准教授	細胞の個体内進化の解析
中山 佳洋	北海道大学低温科学研究所・助教	東南極域デンマン氷河の現在/未来を探る観測モデル融合研究
長谷川 恵美	京都大学大学院薬学研究科・准教授	睡眠周期の生成におけるドーパミンシグナル制御機構の解明
八木 亜樹子	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所・特任准教授	難溶機能性高分子の合成と応用

第16回 (2024年度)

五十嵐 アン	東北大学大学院・工学研究科・助教	唾液中バイオマーカー測定のためのナノリング構造共振器バイオセンサにおける電磁界制御
坪山 幸太郎	東京大学・生産技術研究所・講師 (PI)	細胞膜をすり抜ける「ゴーストタンパク質」の合理的設計
服部 祐季	名古屋大学大学院・医学系研究科・准教授	ミクログリアの脳定着プロセスから迫る多様性獲得メカニズムの解明
森 貴裕	東京大学大学院・薬学系研究科・准教授	酵素機能改変による革新的生体触媒の創出

第17回 (2025年度)

神元 健児	大阪大学微生物病研究所・招へい准教授	光学と単一細胞計測の統合技術による細胞運命ダイナミクスの解明
西村 友美	京都大学大学院医学研究科・乳腺外科・客員研究員	胚細胞系列 <i>BRCA1/2</i> 変異保有者における乳癌発生メカニズムの解明
東 小百合	岐阜大学高等研究院・連合創薬医療情報研究科・特任助教	効率的な薬剤送達を実現する生体内環境応答性コアセルベートの創製
山田 純平	大阪大学大学院工学研究科・助教	超高強度 7nm 集光 X 線レーザーによる X 線領域の高次非線形光学の開拓

(受賞者) (所属) (研究題目)

第18回(2026年度)

小川 亜希子	東北大学大学院薬学研究科・准教授	エピトランスクリプトームを基軸とした生命現象の理解と疾患への応用
車 一宏	東京大学先端科学技術研究センター・助教	フォノンエンジニアリングによる集積ダイヤモンド量子スピndeバイスの開発
齋藤 雄太郎	東京大学大学院工学系研究科・助教	多価不飽和脂肪酸による細胞膜物性制御とがん治療への応用
塚崎 雅之	昭和医科大学大学院歯学研究科・教授	膜組織に着目した腫瘍進展機構の理解と制御